

# 平成 27 年度宍道湖水環境改善協議会 定期総会

## — 次 第 —

日 時 平成 27 年 7 月 9 日(木)10:00～11:30  
場 所 ホテル白鳥 鳳凰の間 1

### 1 開 会

### 2 議 事

- |       |                     |        |
|-------|---------------------|--------|
| 第 1 号 | 平成 26 年度事業報告について    | p. 1   |
| 第 2 号 | 平成 26 年度決算報告について    | p. 6   |
| 第 3 号 | 平成 27 年度事業計画（案）について | p. 7   |
| 第 4 号 | 平成 27 年度予算（案）について   | p. 1 2 |

### 3 報告事項

【資料編】 p.27～53

- |    |                                     |               |      |
|----|-------------------------------------|---------------|------|
| 1) | 水質測定結果及び水質浄化対策進捗状況について              | (島根県環境政策課)    | p.27 |
| 2) | 「宍道湖に係る湖沼水質保全計画(第 6 期)」について         | (島根県環境政策課)    | p.29 |
| 3) | 「汽水湖汚濁メカニズム解明調査ワーキンググループ」の成果と今後について | (島根県環境政策課)    | p.31 |
| 4) | アオコ対策について                           | (国交省出雲河川事務所)  | p.38 |
|    | 〃                                   | (島根県環境政策課)    | p.39 |
| 5) | 宍道湖におけるヤマトシジミの資源量について               | (島根県水産技術センター) | p.41 |
| 6) | 浅場造成の取り組みについて                       | (国交省出雲河川事務所)  | p.42 |
| 7) | 「ヨシ植生帯管理方針・管理計画」について                | (国交省出雲河川事務所)  | p.47 |
| 8) | 藻刈船について                             | (松江市河川課)      | p.49 |
| 9) | 宍道湖漁業協同組合の取り組みについて                  | (宍道湖漁業協同組合)   | p.51 |

### 4 意見交換

### 5 閉 会



## 平成 26 年度 事業報告

### 負担金事業

松江市・出雲市へ面積加算された交付税の一部を負担金として協議会へ拠出し、住民との協働による水環境保全活動や環境教育事業を実施するもの。

#### 1. 宍道湖・中海一斉清掃 【資料編 p.1～2】

6月の環境月間の行事として、宍道湖・中海沿岸の住民・事業所・自治体等が一斉清掃活動を行い、沿岸地域の美化活動と環境意識の向上を図るもの。宍道湖は平成7年から実施しており、平成26年度は20回目であった。

実施日	平成26年6月8日（日）
対象区域	松江市・出雲市
参加者	宍道湖4,764人（全体7,544人） 住民、企業、団体等
ごみの量	宍道湖8.93t（全体14.07t）

#### 2. ヨシ刈り取り事業 【資料編 p.3～6】

両市市報や商工会議所報等の媒体を活用しヨシ植生についての啓発を兼ねた広告を掲載するなどして、ボランティアを募りヨシの刈り取りを実施した。ヨシを冬季に刈り取り湖外へ搬出することで湖水への栄養塩類の再溶出を防ぎ、新芽の更新によるヨシ原の生育・植生拡大を図った。また、刈り取りの際ボランティア事業を安全かつ効率的に行うため、ヨシ原に区画を設定する通路状部分等について、委託刈り取り事業を行った。

刈り取ったヨシについては、前年度に引き続き雲南市ホースセラピー施設で厩舎の壁材として使用したほか、堆肥化、または畑の草抑え材としての活用を検討した。

[ボランティアによる刈り取り]

刈取場所 宍道湖西岸なぎさ公園（出雲市斐川町坂田）  
刈取日程 平成26年12月6日(土)、12月10日(水)、12月14日(日)、  
平成27年3月3日(火)、3月7日(土) 以上 5日間  
参加人数 延べ303人（20企業・団体と2個人）  
刈取面積 6,340 m<sup>2</sup>

[委託による刈り取り]

実施箇所 ボランティア事業実施に必要な区画部分及び湖岸危険箇所  
事業期間 平成26年11月末～平成27年1月  
刈取場所 宍道湖西岸なぎさ公園（出雲市斐川町坂田）  
刈取面積 約600 m<sup>2</sup>

### 3. 環境関連啓発事業 【資料編 p.7～9】

ヨシ刈り取り事業ボランティア参加者向けヨシ植生についての学習会、簡易水質検査キット等を用いた水質調査学習会の実施及び協議会の取り組みの周知のため大規模イベントに参加し啓発活動を行った。

また、環境教育や環境保全活動の推進に向けて新たに協議会のホームページを開設した。

[宍道湖岸におけるヨシについての学習会]

実施時期 平成26年11月～平成27年3月において8回  
参加人数 延べ303人

[「島根スサノオマジック」ホームゲームにおける啓発活動]

実施日 平成27年2月7日(土)、2月8日(日)  
来場者数 延べ 3,464人（二日間合計）

[協議会ウェブサイトの開設]

開設日 平成27年3月30日(月)  
URL <http://www.shinjiko-dandan.jp>

[水質調査学習会]

実施日 平成26年5月～11月 計4回

参加人数 約170人

[協議会事業PRチラシ配布]

印刷枚数 10,000枚

配布実績 約4,300枚

4. 斐伊川水系の上下流交流事業 【資料編p.10～12】

斐伊川流域における上下流住民の相互理解を深めることを目的に、下流部の松江市・出雲市の住民が上流部を訪問した、雲南市及び奥出雲町の住民との交流会や現地の施設見学を行った。

実施日 平成26年11月30日 雲南市を訪問

平成26年12月7日 奥出雲町及び雲南市を訪問

参加人数 松江市住民 33人（二日間合計）

出雲市住民 38人（二日間合計）

## 連携事業

水環境改善に関する様々な課題を協議会において検討し、その課題解決にあたって国・県・市が適宜連携をとり、それぞれの役割に応じた事業を実施するもの。

### 1. 砂浜再生プロジェクト 【資料編 p.13】

宍道湖の水質改善及び自然湖岸化、生態系の再生など湖の自然浄化機能の回復を目的として行われる浅場造成にあわせ、松江イングリッシュガーデン湖岸に親水ゾーンを整備した。

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所（浅場造成）、松江市（親水ゾーン整備）
事業箇所	松江イングリッシュガーデン湖岸（松江市西浜佐陀町）

### 2. 覆砂事業 【資料編 p.14】

宍道湖のシジミ資源の回復を図るため、稚貝の着底場や産卵母貝の生息場の拡大に効果が期待される覆砂を実施し、その結果や継続期間等を検証し覆砂事業の有効性を検討する。

平成26年度はこれまでに覆砂を実施した箇所におけるモニタリングを行い、シジミ稚貝や産卵母貝の動向、覆砂の効果の持続性等を調査。

事業主体	島根県
調査箇所	平成24年度覆砂 宍道湖西岸（出雲市斐川町空港北沖）
	平成25年度覆砂 宍道湖北岸（松江市秋鹿沖）
	宍道湖南岸（松江市宍道町来待沖）

### 3. 水草対策 【資料編 p.15～16】

近年、繁茂が拡大傾向にある水草について、国・県・市が連携して取り組みを行うこととしている。平成26年度は水草の繁茂状況を共有するとともに、今年度の調査計画や取り組みについて検討を行った。

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所、島根県
調査実績	水質調査、底質調査、水生生物調査、部分刈り取り実験、 分布・現存量調査、生長状況調査等
調査時期	平成26年6月～平成27年3月

## 平成26年度 宍道湖水環境改善協議会 決算書

歳入合計	4,438,871	
歳出合計	2,704,567	
差 額	1,734,304	(次年度繰越額)

## 【歳入】

(単位：円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
1 負担金	4,367,000	4,367,000	0	(面積割り積算) 松江市 3,164,000 出雲市 1,203,000
2 繰越金	71,506	71,506	0	
3 諸収入	494	365	△ 129	利息
合 計	4,439,000	4,438,871	△ 129	

## 【歳出】

費 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
1 会議費	50,000	36,408	△ 13,592	会場使用料等
2 事務費	20,000	19,447	△ 553	振込手数料等
3 事業費	4,319,000	2,648,712	△ 1,670,288	
1 一斉清掃	400,000	325,830	△ 74,170	ごみ収集運搬委託料292千円 等
2 ヨシ刈り取り事業	2,014,000	912,290	△ 1,101,710	刈り取り委託料247千円、広報に係る消耗品(チラシ印刷・のぼり等)343千円 等
3 環境関連啓発事業	1,405,000	1,106,886	△ 298,114	宍水協ウェブサイト構築委託料472千円、同サイト保守委託料233千円 等
4 斐伊川水系の上下流交流	500,000	303,706	△ 196,294	バス借上料301千円 等
4 予備費	50,000	0	△ 50,000	
合 計	4,439,000	2,704,567	△ 1,734,433	

## 平成26年度 会計監査報告

本決算書は、証拠書類と照合の結果、適正であることを認める。

平成27年 5月29日

監 事 島根県 環境生活部長 新田 英夫



## 平成27年度事業計画（案）

### 負担金事業

#### 1. 宍道湖・中海一斉清掃 【資料編 p.17～19】

宍道湖ならびに流入河川の沿岸住民・事業所等が一斉に清掃活動を行うもの。6月の環境月間の行事として平成7年から実施しており、平成27年度で21回目となる。ラムサール条約登録を契機に平成18年度から中海圏域と併せて実施している。

実施日	平成27年6月14日（日）
対象区域	松江市・出雲市
参加者	宍道湖112団体4,849人（全体8,050人）住民、企業、団体等
ごみの量	宍道湖8.23t（全体15.11t）

#### 2. ヨシ関連事業 【資料編 p.20】

ヨシは、刈り取り搬出をすることで湖水への栄養塩類の再溶出を防ぎ、新芽の更新による生育・植生拡大が促進される。長期にわたる植栽事業によって完成された広大なヨシ群落のより適正な管理のために、引き続きヨシ刈り取り事業を行う。主にボランティアによる刈り取り作業を行うことでヨシ植生に係る意識啓発につなげる。

また、刈り取ったヨシの利活用として、壁材・屋根材のほかヨシ再生品製作等を試みる。

##### [ヨシ刈り取り事業]

実施時期	平成27年11月～平成28年3月末
参加人数	400人目標

##### [ヨシの利活用]

実施時期	平成27年11月～平成28年3月末
実施内容	「宍道湖産ヨシ配合紙」製作の試み

### 3. 環境関連啓発事業

協議会ウェブサイトから環境教育や啓発に関する情報を広く発信する。また、楽しみながら宍道湖に親しむことのできる仕組みづくりとして、宍道湖岸での親水学習会等を実施する。

その他環境意識啓発につながるイベント参加等について積極的に行う。

[学習会の取り組み]

開催場所 松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン 等

対象 幼稚園児、小・中学生

[イベント参加の取り組み]

参加予定 宍道湖岸で開催される親水または環境保全に係る催し

参加内容 パネル展示、啓発グッズやチラシの配布 等

### 4. 斐伊川水系の上下流交流事業 【資料編 p.21】

斐伊川流域における上下流住民の相互理解を深めることを目的に、下流部の松江市・出雲市の住民が上流部を訪問し、雲南市及び奥出雲町の住民と交流を深めるとともに、尾原ダムやホースセラピー施設の見学を行う。

また、上流部団体と協働でのイベント参加などを通して斐伊川水系やその流域連携についての啓発をはかる。

[上流部訪問・交流会の取り組み]

実施時期 平成27年 11月～12月

対象 松江市・出雲市の住民、及び上流部自治体の住民

参加人数 各市40人程度目標

[イベント参加による啓発の取り組み]

実施時期 平成27年 8月～12月

啓発内容 斐伊川水系全体の水質改善に係る啓発事業

## 5. ラムサール条約登録 10 周年記念事業

本年は、ラムサール条約登録から 10 年目になる。このことを記念し、島根県開催の「ラムサールフェア」に合わせ、宍道湖または斐伊川水系流域全体の水環境改善についての意識啓発につながる講演会を行う。

実施時期	平成 27 年 11 月 23 日（月・祝）
場 所	くにびきメッセ小ホール

## 連携事業

### 1. 砂浜再生プロジェクト 【資料編 p.22～24】

浅場造成事業にあわせて親水ゾーンの整備が完了し、平成27年4月28日にはオープニング式典及び記念イベントを開催したところである。

平成27年度においては、この親水ゾーンについての周知と利用促進につなげていく。その一環として、公募したモニターによる定期的な湖沼環境調査を行う。

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所・松江市（親水ゾーン管理）、島根県（モニター定期調査）
事業箇所	松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン（松江市西浜佐陀町）

### 2. 覆砂事業 【資料編 p.25】

シジミ資源回復実証事業は平成26年度で終了したため、水産技術センターが実施しているシジミモニタリング調査の中で、3試験区の覆砂効果の持続性を調査する予定。

事業主体	島根県
調査箇所	平成24年度覆砂 宍道湖西岸（出雲市斐川町空港北沖）
	平成25年度覆砂 宍道湖北岸（松江市秋鹿沖）
	宍道湖南岸（松江市宍道町来待沖）

### 3. 水草対策 【資料編 p.26】

宍道湖に係る水草の大量繁茂における対策については、国・県・市が連携して取り組みを行うこととしている。平成27年度も水草の繁茂状況を共有するとともに、今年度の調査計画や取り組みについて検討を行う。

[平成 27 年度調査計画]

事業主体	島根県
調査計画	水草の分布・現存量調査 糸状藻類（シオグサ）の分布・シジミへの影響調査
調査時期	平成 27 年 5 月～11 月（予定）

[平成 27 年度の取り組み（課題と対策）]

課 題

- ① 漁業への障害（漁船の航行に支障、シオグサがシジミに被さり斃死）
- ② 河川管理上の障害（巡視船等の航行障害）
- ③ 臭気の発生（漂着した水草・藻類の腐敗による悪臭）
- ④ 実施者毎（国、漁協）に刈り取り時期が異なる
- ⑤ 刈り取った水草の処分（有効利用されていない）

H27 対策

- ① 「水産多面的機能発揮対策」（水産庁）の活用により漁業者による除去漁協への藻刈船の貸し出し（松江市）
- ② 河川管理上支障となる箇所での刈り取り（国）
- ③ 河川管理施設に漂着した水草及び吹き寄せられた水面上の水草については塵芥処理として対応（国）
- ④ 刈り取り時期を調整し、管理者と利用者が連携した取り組みとする
- ⑤ 水草の有効利用に関する情報共有

## 【議案第4号】

## 平成27年度 宍道湖水環境改善協議会 予算書 (案)

## 【歳入】

(単位：円)

費目	H27予算額(A)	H26予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
1 負担金	3,056,000	4,367,000	△ 1,311,000	(面積割り積算) 松江市 2,203,000 出雲市 853,000
2 繰越金	1,734,304	71,506	1,662,798	
3 諸収入	696	494	202	
合計	4,791,000	4,439,000	352,000	

## 【歳出】

費目	H27予算額(A)	H26予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
1 会議費	50,000	50,000	0	総会、幹事会、担当者会議
2 事務費	50,000	20,000	30,000	事務消耗品、郵送料、 振込手数料等
3 事業費	4,641,000	4,319,000	322,000	
1 一斉清掃	330,000	400,000	△ 70,000	消耗品、ごみ運搬委託料 等
2 ヨシ関連事業	1,680,000	2,014,000	△ 334,000	刈り取り委託、ヨシ利活用 に係る費用 等
3 環境関連啓発事業	515,000	1,405,000	△ 890,000	ウェブサイト保守委託料、 環境学習会開催に係る需用 費 等
4 斐伊川水系の上下流交流事業	516,000	500,000	16,000	バス借上料、高速道路使用 料 等
5 ラムサール条約登録10周年 記念事業	1,600,000	0	1,600,000	講演会開催委託 等
4 予備費	50,000	50,000	0	
合計	4,791,000	4,439,000	352,000	